

## エフエックス・オンライン・ジャパン 英国 I G グループと資本提携 「CFD」も商品ラインアップへ

日本で初の取引手数料の無料化で知られる、外国為替証拠金取引(FX)大手のエフエックス・オンライン・ジャパンはこのほど、イギリスの上場企業であるIGグループホールディングスと包括的な資本提携を行った。

IGグループは、CFD(注・証拠金を用いたレバレッジ取引、差金決済で世界の株式指数や商品などを取引対象とした金融派生商品)およびFXのグローバル・プロバイダー。ロンドン証券取引所に上場しており、株式時価総額は約2000億円。1974年に設立され、現在イギリ

ス、オーストラリア、シンガポール、フランス、アメリカを含む8カ国に展開している。

IGグループは、エフエックス・オンライン・ジャパンの株式の87.5%を保有する筆頭株主となる。エフエックス・オンライン・ジャパンの最高経営責任者であるジェームズ・ガウ氏が12.5%を所有。フィンテックグローバル、みずほキャピタルが所有していた同社の株式それぞれ44.99%および5%もIGグループに譲渡される。今回の株式譲渡でのエフエックス・オンライン・ジャパンの企業価値は250億円に上るといふ。



エフエックス・オンライン・ジャパンのジェームズ・ガウ氏(最高経営責任者)

ジェームズ・ガウ氏は「エフエックス・オンライン・ジャパンが次のステージに向けた成長を遂げるために、世界最大のFXおよびCFDのリテール・プロバイダーであるIGグループとの資本提携を行った」とした

上で、「当社はこれまでIGグループとともにディーリング・プラットフォームの『ビューアディール』のカスタマイズに取り組んできた。今後はCFDが当社の商品構成に加わり、お客さまは今後はグローバル金融市場で株式、指数、商品などの取引を行っていただけるようになる」。また、IGグループのティム・ホーキンス最高経営責任者は「両社のテクノロジーおよび幅広い商品構成を融合させることで新機軸を打ち出せるものと期待している」とのコメントを寄せている。

エフエックス・オンライン・ジャパンは9月現在、顧客口座数が3万を超え、日次平均取引金額は2600億円超、月間取引件数は100万件以上。2008年3月の売上高は約70億円、税引き後当期利益は約29億円。

(T)